

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	29年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 企画担当課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	愛知県内3港連携の推進	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7906
目的	対象(誰・何を)	愛知県内3港(名古屋港、衣浦港、三河港)			事業期間	平成29年～
	意図(どういう状態にしたいか)	関係者と連携して、サプライチェーン全体の生産性向上を目指し、3港の連携等による港湾物流機能の強化に取り組むことにより、背後地域のものづくり産業の国際競争力強化を図っていきます。				
概要	愛知県と共に、県内3港が目指す方向性を「愛知県港湾物流ビジョン」としてとりまとめ、サプライチェーンを強くする港湾物流機能の強化施策を進めていきます。				根拠法令等	
30年度の実施予定	愛知県港湾物流ビジョンをポートセールス等で活用し、3港の連携による港湾物流機能の強化の有用性をPRするとともに、サプライチェーンを強くする港湾物流機能強化に向けて取り組んでいきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

30年度に実施した内容・結果	愛知県港湾物流ビジョンをポートセールス等で活用し、3港の連携等による港湾物流機能の強化の有用性をPRしました。また、港湾物流機能の強化に向け、伊勢湾・三河湾においてLNG/バンカリング拠点を形成するため、インセンティブ制度について検討を行い、令和元年4月1日よりインセンティブ(入港料の免除)を開始しました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	-	0	0	0	
人件費	千円	-	3,492	3,503	3,498	
合計	千円	-	3,492	3,503	3,498	

3 CHECK(検証)

指標名	28年度	29年度	30年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
3港の港湾物流機能強化(工程) (進行管理型)	目標	-	1	2	2	①愛知県と共に、県内3港が目指す方向性を「愛知県港湾物流ビジョン」として策定・公表 ②3港連携推進のため、関係者による会議の開催	
	実績	-	1	2			
	事業進捗状況(30年度)		順調		やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標					愛知県港湾物流ビジョンをポートセールス等で活用し、3港の連携等による港湾物流機能の強化の有用性をPRしました。また、伊勢湾・三河湾におけるLNG/バンカリング拠点の形成に向けたインセンティブ(入港料の免除)の創設をしました。	
	実績						
	事業進捗状況(30年度)						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○					

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	重点施策として位置付け継続
順調	背後産業の国際競争力強化に向け、引き続き、関係者が連携して取り組む必要があります。	各港単独や3港の共力による港湾物流機能強化に向けて重点的に取り組んでいきます。	